

については、以前から論議されているが町の考えは。③子どもたちの立場に立つて考えた場合、二校制をとることが望ましいと思えるが。④給食を通じての教育としてどのようなことをしているか。

答 ①今年ベランダなどの補修を行ったが、再度点検したうえで子どもたちの安全に万全を期したい。②この問題は町にとって大きな課題であり、さまざまな角度から検討している。今後も関係機関と慎重に協議を重ね対応したいと考えている。③現在の生徒数は632名で統計資料によると平成7年には608名となる。適正な生徒数は500名から600名なので今のところは二校制にする予定はない。生徒の数が増えればその時点で対応したい。④社会科事業の一環として町給食センターの見学を行っている。

### 保育行政

問 6月議会でゆとりある保育を進めるうえでの職員配置について伺った。検討することであったが、その後の状況は。

答 職員の定数問題は重要な課題であり、また、少ない職員でよりよい住民サービスを行うことも我々に課せられた使命と考えている。慎重に対応したいので今少し時間を頂きたい。

### 波乗り道路の延伸計画

問 ①九十九里有料道路(波乗り道路)の延伸計画について伺いたい。②県道飯岡一宮線から子供の国へ通じる縦の道路を海岸まで延長する考え



屋形橋までバイパスが整備されます

はないか。③県道飯岡一宮線の改良事業の進捗状況は。

答 ①波乗り道路は一宮から九十九里町片貝までの17・2kmが供用されている。今後の計画については県が利用状況などを調査し検討しているが、将来的には九十九里町から成東町までの産業道路や、成東町から横芝町までの蓮沼公園線などをうまく連結してまとめていく考えのようだ。②屋形海岸までの道路は幅員が狭く、屈曲しており観光面を考えると整備する必要があると考えている。しかし、大きな事業でもあるので検討を加えながら、将来的には子供の国を中心とした海岸整備の中で取り組みたい。③県道飯岡一宮線の屋形南川岸交差点から、子供の国前を通り、屋形橋までを整備するこの事業は昭和62年から取り組んでおり現在用地取得を進めている。平成6年度に一部完成し8年度にはすべて完成する予定。

### 災害対策

問 寝たきり老人や独居老人の災害時における対策について伺いたい。

答 現在は、緊急時の連絡体

制の整備や、緊急通報装置の設置などを行っているが、今後は自主防災組織等の協力を得ながら更に充実した対策を進めたい。



県防災センターを見学し、消火器の取り扱いの説明を受ける自主防災会のみなさん

# 飯岡一宮線バイパス平成8年度完成